

## 日本の中心地

J1SXA/池

「日本の中心地」、「日本のへそ」を名乗る都市は、いくつもあるが、長野県辰野町大城山付近、北緯36度と東経138度が0分00秒で交差する場所を指す言葉「ゼロポイント」がここにある、NHKの番組「チョコちゃんに叱られる」で、「日本の中心地」を名乗る都市28の緯度、経度の平均値は「北緯35度59分56秒、東経137度59分56秒」と出た、ここは、大城山のゼロポイントから10メートルずれた場所だった、辰野町はお墨付きを頂いたようだ。

群馬県渋川市寄居町は中心算出の根拠として、日本本土最北端「宗谷岬」と、日本本土最南端「佐多岬」を直径とする円の中心ということだ、一応説得力がある。

栃木県佐野市田沼町は、中心算出の根拠として、渋川市と同じく、日本本土最北端「宗谷岬」と、日本本土最南端「佐多岬」の中間点というのは、一緒だが、これに加えて、太平洋と日本海の間地点となるよう条件設定している。

山梨県韮崎市大草町の中心算出の根拠は、日本本土最北端「宗谷岬」と日本本土最南端「佐多岬」を直径とする円の中心が、日本最東端「南鳥島」と「日本最西端「与那国島」との中心経度と交差する地点ということだ。

石川県珠洲市狼煙町の中心算出の根拠は、国土地理院が算出した日本国土の重心が能登半島最先端の禄剛崎沖にある、そこから一番近い陸地である禄剛崎を仮の中心地としている。

石川県珠洲市三崎町の中心算出の根拠は明確な根拠記載は現地に無いが、珠洲市狼煙町と同じく日本国土の重心に一番近い陸地だとの主張のようだ。

兵庫県西脇市上比延町の中心算出の根拠は、日本北端の宗谷岬(北緯46度)、日本南端の波照間島(北緯24度)、日本東端の択捉島(東経147度)、日本西端の与那国島(東経123度)、これらの緯度経度の中間は、北緯35度、東経135度でこの地になるとの主張だ。

徳島県三好郡東みよし町毛田の主張は、緯度経度の下2桁同一の地の北端は、北海道常呂町(北緯44度・東経144度)から南端は沖縄県竹富島(北緯24度・東経124度)まで9つある、その9つの中心にあたるのが、北緯34度、東経134度の地点だということだ、わかったような、わからないような主張だが、何となく納得させられるような説明だ。

いやー、色々な根拠の説明を見ると、それぞれ、工夫を凝らした説明をしているものだと感心する。

長野県佐久市田口峠は、「日本で海岸線から一番遠い地点」だから、「日本のへそ」だと、内容は、静岡県富士市田子の浦港の海岸線まで114.853m、新潟県上越市直江津の海岸線まで114.854m、神奈川県小田原市国府津の海岸線まで114.862m、新潟県糸魚川市梶屋敷の海岸線まで114.861mということだ。

こんなのもあります、岐阜県郡上市美並町は「日本人口重心地点(1995)」を主張する、5年に1度行われる国勢調査にて、1995年までは日本の人口の重心地点だったスポットだ、人口重心とは、ことばの通り日本に住んでいる人々の人数と住所から割り出す、重心の取れるポイントのこと、つまりは日本人全員の体重の中心地ってことです。

他にもまだ、日本の中心地を名乗る都市もありますが、根拠の説明が面白い。

「日本の中心」をアピールする、碑や標

辰野町大城山付近「日本の地理的中心 00ポイントの碑と標」と「チョコちゃんに叱られる」で、「日本の中心地」を名乗る28都市の緯度、経度の平均値の場所(左の標から約10m)



渋川市寄居町「日本の臍中心標」



佐野市田沼町「日本列島中心の地」



韮崎市大草町「日本列島の中心地」



珠洲市狼煙町「日本列島ここが中心」

